

経営経験者との対話で学ぶ技術経営セミナー  
～CUMOT×STAMP 連携プログラム～  
受講生募集のご案内

環境・社会理工学院 技術経営専門職学位課程 実施

プログラムの目的

本プログラムは、技術経営を実践する次世代の企業経営を担う人材を対象に、技術経営士の会(STAMP)のメンバーが持つ「企業経営」「新規事業開発」「研究開発/技術開発」などの豊富な実務経験をもとに、「実践例と討議課題の提示」「グループ討議/発表と解説」を通じた事例研究に取り組みます。

プログラムの特徴

- ①経営や事業のマネジメントに関する豊富な経験を持つメンバーが所属する「技術経営士の会」との連携
- ②技術経営士のメンバーによる「生きたケース(事例)」を通じた学習
- ③受講生自身が考える技術経営士からの「討議課題の提示」とMOTや経営学の学習経験を持つ受講生同士による議論

プログラムの学習目標

戦略的技術経営の実践における課題認識と解決に必要な考え方の修得

プログラム担当教員メッセージ

本プログラムは、技術経営士の会の皆様の協力により、企業経営、グローバル事業、研究開発といった多様なマネジメント経験を持つ有力な実務家を講師に迎え、講師が実際に取り組んだ事例に基づく学習機会を提供します。当事者による「生きた」事例を通じた研究は、説得力と迫力が違います。表層的ではない深いディスカッションと貴重な学びが得られるでしょう。



環境・社会理工学院 技術経営専門職学位課程 准教授 辻本将晴

STAMP会長メッセージ

技術経営士は、技術の専門知識を持ちながら、組織のマネジメントを経験した、上場会社の役員や官僚、大学の方々です。企業経営と言うのは知識だけではできません。知識以外に人格・見識を含めた人間力が必要です。実際に組織運営を実践した人の生の話が大事です。我々は東京工業大学の場をお借りして、我々の経験に基づく知見を皆さんと共有できることを嬉しく思っています。



技術経営士の会 会長 矢野薫

技術経営士の会とは

技術経営士は、“高齢技術者の技術経営に関する知見を社会に活かす”ために、一般社団法人技術同友会が創設した資格です。そして、技術経営士の会は、技術経営士個人での活動には限界があるので、有志が集まり組織を創り、より積極的に技術経営士の活動を支援するために結成された組織です(任意団体)。

技術経営士の会 webサイト <http://stamp-net.org/>

募集要項

受講期間

2019年11月14日～2020年2月15日(ガイダンス、修了式含む)  
全12回 木曜開催(一部土曜開催) 19時～21時30分(1回2.5時間)  
※講義のほか、受講生同士のグループ学習(ディスカッション)をします。  
※11/14は受講ガイダンスを行います。  
※学習テーマによっては一部、変更になる場合があります。

受講対象者

次世代の企業経営や組織マネジメントを担う社会人の方

- 具体的には、下記のような方を歓迎します
- ・企業経営の経験者から直接、話を聞いたり、議論をしたい
  - ・組織のメンバーとして経営者の考え方や意思決定の方法、リーダーシップなどについて学びたい
  - ・同じ志や意欲を持つ仲間との交流やディスカッションを楽しみたい
  - ・一方的に話を聞いたり教わるのではなく、双方向で主体性を持って学びたい
  - ・CUMOTで他のコースの受講経験があり、新たに学ぶ機会を得たい
  - ・MOT、MBA、社内研修等、経営学の分野での学習経験のあり、新たに学ぶ機会を得たい
  - ・事業運営、新規事業、海外事業展開、研究開発など、企業経営やマネジメントに関する知見やヒントを得たい

受講場所

東京工業大学田町キャンパス(東京都港区芝浦3-3-6  
キャンパス・イノベーションセンター707教室)  
\* JR山手線・京浜東北線 田町駅下車 徒歩1分

募集人数

15名(最大18名) ※最小開催人数10名

申込期間

2019年9月2日(月)～10月9日(水)(締切日必着)  
※定員に達した場合、募集を終了します。  
※企業派遣など上記期間での対応が難しい場合はご相談ください。

受講料

120,000円(+消費税) ※お支払い方法については受講認定後に振込みにて手続きをしていただく予定です。お振込み後の受講料の返還はいたしませんのでご了承ください。

申込方法

願書に必要事項をご記入のうえ、下記の住所までお送りください(締切日必着)。  
〒108-0023 東京都港区芝浦3-3-6 CIC910  
CUMOT事務局 STAMP連携プログラム受講申込担当

受講審査・受講通知

願書をお送りいただいた後、志望理由書等にもとづく書類審査をいたします(申込順審査)。受講通知についてはメールまたはお電話にてご連絡いたします(後日、受講許可証を通知)。

お問い合わせ

東京工業大学 CUMOT事務局  
お問い合わせ先E-mail: [cumot-info@mot.titech.ac.jp](mailto:cumot-info@mot.titech.ac.jp)  
※受講についてお問合せがある場合は、メール等にて個別相談にも応じます。

受講実績

【受講アンケート】平成30年度実績 5段階評価

授業の総合的な満足度はどのくらいですか 平均4.4  
授業で学んだことが今後自分の業務に役立つと考えますか 平均4.6

【受講者の声】

- ◆より視座を高く持ち現在の業務に取り組む姿勢を学びました。また種々の役立つ考え方・テクニックが講義の端々から読み取れました。短時間の講義の中で講師陣の中にロールモデルとしたい点を多数見つけることができました。
- ◆実体験を伴う講師の方々のお話は常にスケールが大きく、見渡すべき視野の広さや時間の尺度など様々な点において、これまでの自分の見方や考え方は限定的であったと感じるようになった。一方で、講師や参加者の方々の中には、自分の実務での経験や悩みに当てはめて考えられるようなことが沢山あり、とても参考になった。
- ◆経営者の方には、社会に貢献するという、強い意志があり、それ実現することで、利益、企業の成長があるのではないかと思います。



# CUMOT×STAMP 連携プログラム

## スケジュールと講師

回数	日程	学習テーマ	担当	経歴等
-	11/14	受講ガイダンス	古俣 升雄	東京工業大学 環境・社会理工学院 CUMOT特任助教
1	11/21	技術の創出と経営の判断 ～通信技術と携帯電話の新たな市場の創出～	潮田 邦夫	元 株式会社NTTドコモ 常務取締役法人営業本部長
2	11/28	新興国の事業展開のポイント ～川喜田二郎氏直伝の問題解決ツール「KJ法」の活用～	岡部 聡	元 トヨタ自動車株式会社専務取締役
3	12/5	技術に立脚した経営 ～新規技術が未来を変える～	神永 晋	元 住友精密工業株式会社 代表取締役社長
4	12/12	新しい時代の研究開発とそれを活かす技術経営 ～オープンイノベーションを实のあるものにするには～	上田 新次郎	元 株式会社日立プラントテクノロジー 代表取締役副社長
5	1/9	新規事業の開発・導入から発展へ ～Suicaの開発と導入 ICカードの国際調達紛争 電子決済プラットフォーム～	井上 健	元 東日本旅客鉄道株式会社 常務取締役鉄道事業本部副本部長
6	1/16	経営者視点の実践的開発プロジェクトマネジメント ～多様なステークホルダーが関わるシステム開発のプロジェクト運営～	井上 保	元 富士通テレコムネットワークス株式会社 代表取締役社長
7	1/23	組織の成長に欠かせないベンチャー精神 ～大企業における組織の再活性化～	海野 忍	元 NTTコムウェア株式会社 代表取締役社長
8	1/30	成長を実現する経営の現場 ～戦略・ビジョンの役割と経営現場の危機管理～	中村 房芳	元 株式会社IHI 代表取締役副社長
9	2/8 (土)	新興国市場拡大に対応した新製品開発と事業展開 ～日立「社会イノベーション事業」における医療機器事業の推進～	三木 一克	元 株式会社日立メディコ 代表執行役 執行役社長
10				
11	2/15 (土)	大型・複合・国際化するプロジェクトにおいて プロジェクトリーダーに要求される資質 ～海外プロジェクトにおけるプロジェクトの問題点、課題～	野呂 一幸	元 大成建設株式会社 常務役員 設計本部長
12				

※木曜19～21時30分開催、9～12回は土曜13～17時開催

## 学習形態と事例紹介

学習形態	講義前半(60分)	講義中盤(45分)	講義後半(45分)
講義 ディスカッション	講師より実践例の紹介と討議課題が提示されます。	討議課題にもとづき、グループ討議をします。	討議結果の発表と解説およびQ&A、意見交換などを行います。
(事前・事後)	学習者は、自らの既得知識レベルや週末などの自由時間に合わせて推奨書籍の読書、事前課題(資料)の読書、グループ学習支援システムを通じた意見交換等によって学習をします。また、提示された事後課題を検討します。		

### 事例紹介

第1回	技術の創出と経営の判断(潮田 邦夫 氏) 通信技術と携帯電話の新たな市場の創出
事例概要	本事例は、NTTドコモ社で携帯電話の拡大の転機となったi-mode開発と、ワイヤレスソリューションの世界を広げ、携帯ワルドの基盤づくりを図った内容である。
学習内容 (予定)	新サービスの創出には、「社会背景」を洞察し、サービス実現には「社外の組織や人々との協調」も必要となる。そして、経営者には、自ら判断/決断したことを実践するため「自らを邁進させていく力(モチベーション)」「周りを巻き込む推進する力(人材マネジメント)」「イノベーションを推進させる力(リーダーシップ)」が必要である。これらをNTTドコモでの事例の講義を基に、技術系の経営者に必要な資質能力を、そしていかに身につけていくかについてディスカッションしたい。



## 説明会開催

日時：2019年9月26日(木)19～20時

場所：田町キャンパス707教室(東京都港区芝浦3-3-6 JR田町駅 徒歩1分)

申込方法：Webサイト(<http://www.academy.titech.ac.jp/cumot/>)の問い合わせフォームまたはメールで受付けております。メールでのお申込は、件名「STAMP説明会参加」とし、本文に「氏名」「所属先(任意)」を記載のうえ、アドレス(cumot-info@mot.titech.ac.jp)までお送りください。詳細および最新情報は、webサイトにてご確認ください。<http://www.academy.titech.ac.jp/cumot/stamp/index.html>

## 実施体制

主催：東京工業大学社会人アカデミー

事業主体：環境・社会理工学院(技術経営専門職学位課程) 実施協力：技術経営士の会(任意団体)

修了認定：修了者には社会人アカデミー長名の「修了証書」を交付いたします。評価については、出席状況を含め、コースごとに行います。

※本プログラムは予定中のもので、一部、変更になる場合がございます。(2019年7月現在)